

の一本白 年幼本白

□倉橋惣三先生監修

本誌は、三歳から拾歳までの子供の爲め美しい繪と、面白い噺とを、教育的に組み合せた他に比類なき繪雑誌です。殊に毎號教育的な手技附録を添へます。

本誌は、玩具とお噺しとの興味及び教育的價値を兼ねあはせたるもの、子供には何よりも喜ばれ、何よりもよき友達となる。

定價

壹冊拾二錢 □半年 郵税共七拾五錢
 郵税壹錢 □壹年 同壹圓四拾四錢

御大典記念畫報 婦人畫報
 皇族畫報 少女畫報
 日本幼年

發行所

東京京橋鍛冶橋外
 振替東京四九〇〇

東京社

初めて入園した幼児に平易で適切な一

大正六年第一考案

花とり競争

定價金二圓五十錢

遊方

松竹梅、櫻、菊、楓の形を板にて八寸の大きさに切抜き、特有の色を以て彩色したるものを遊嬉室に配つて置いて一方で先生が大なる獨樂六角に削てあつて右の六を廻し止た時に現れた櫻が出れば櫻處へ速かに行た方が一番といふのであります、その間幼児は互に梅とか櫻とか、好むところを唱へつゝ待て居るのであります、

教育的價值

沈着と敏捷、獨樂の止る瞬間には最も沈着にして正しく出たものを視分なくてはなりません

視分が付たなれば、最も敏捷に目的の處へ間違ぬ様に行かなくてはなりません

此處で視覺の練習にもなり同時に植物の名稱を覺る事が出來ます

東京九段

電話番町二九〇九
振替東京一九六四〇

フレーベル館

最も嗜好味多き運動器具